

都市再生整備計画 事後評価シート

公津の杜駅周辺地区

(都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ))

令和2年1月

千葉県成田市

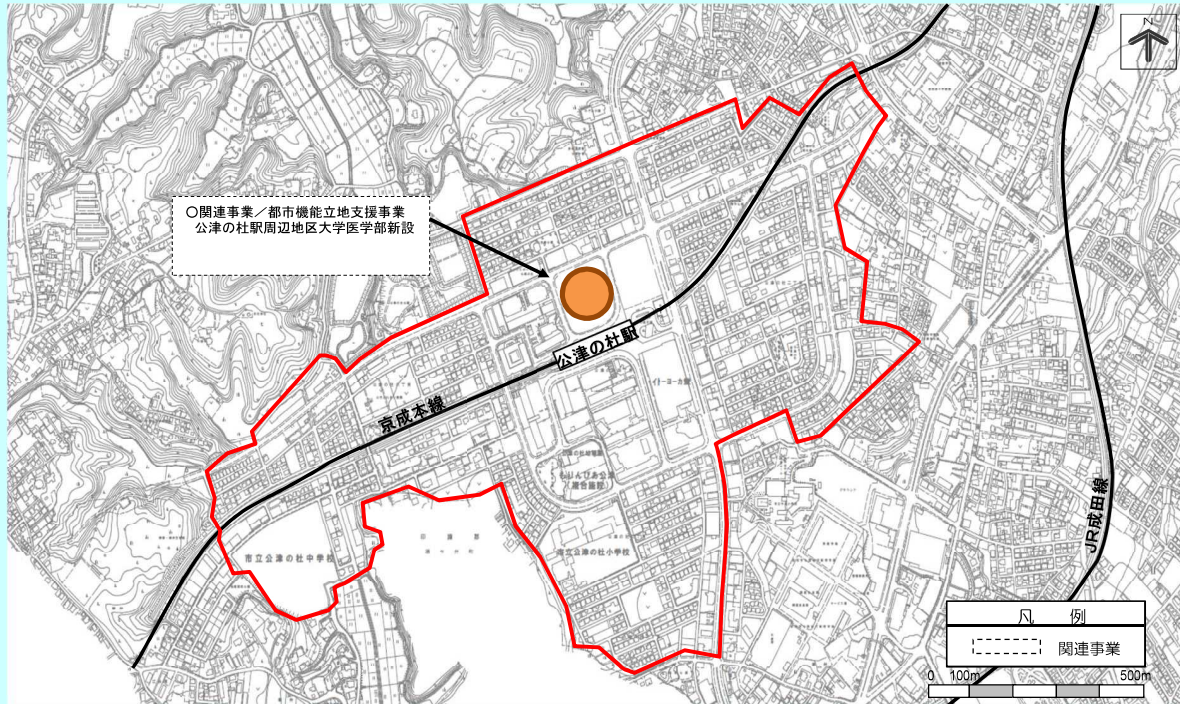
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	成田市		地区名	公津の杜駅周辺地区(都市再構築戦略事業)			面積	112.6ha		
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	0	国費率	0				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	-										
		提案事業	-										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-		-			-			-		
		提案事業	-		-			-			-		
	新たに追加した事業	基幹事業	-		-			-			-		
		提案事業	-		-			-			-		
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
	変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の		効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期	
	指標1	公津の杜駅の利用者数	(人/日)	10,134	H26	11,000	R1		○	あり	-	国際医療福祉大学の設置により、公津の杜駅を教職員や学生が利用することにより、公津の杜駅の利用者数が増加したものと考えられる。	令和2年12月
	指標2	公津の杜複合施設(図書館)利用者数	(人)	74,556	H26	77,300	R1		○	あり	-	国際医療福祉大学の設置により、公津の杜複合施設(図書館)を教職員や学生が利用することにより、公津の杜複合施設(図書館)の利用者数が増加したものと考えられる。	令和2年12月
指標3	区域内の人口密度	(人/ha)	77	H26	77	R1		○	あり	-	国際医療福祉大学の設置により、教職員や学生が公津の杜駅周辺地区に居住したことにより、公津の杜地区における定住者の増加につながり、人口密度の維持に貢献したものと考えられる。	令和2年12月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の		効果発現要因	フォローアップ
	その他の数値指標1			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期	
4)定性的な効果発現状況	なし												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-					
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-					

様式2-2 地区の概要

公津の杜駅周辺地区(都市再構築戦略事業)

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標名	単位	従前値	評価	目標値	評価	従前値	評価
大目標: 大学を活用したまちづくりの推進 小目標①: 駅前空間のにぎわいの創出 小目標②: 大学を核とした、学びの場や地域活力の創出 小目標③: 駅周辺地域の人口密度の維持	公津の杜駅の利用者数	単位: 人/日	10,134	H26	11,000	R1	14,652	R1
	公津の杜複合施設(図書館)利用者数	単位: 人	74,556	H26	77,300	R1	79,390	R1
	区域内の人口密度	単位: 人/ha	77	H26	77	R1	86	R1



まちの課題の変化	<p>○平成11年の区画整理事業の完了後も、公津の杜駅北側の民間所有地が低未利用地となっていたことから、市が取得し、医科系大学を誘致することで、若年層を中心とした人口の定住化が求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学の誘致により、地区内の居住人口が増加し、人口密度が維持されることで、持続的なまちづくりが推進された。 今後も駅周辺のオープンスペースの活用や大学と連携した地域交流を推進し、にぎわいのあるまちづくりを進めていく必要がある。 引き続き地区内への人口定着を図っていくため、公園や道路などの都市施設の整備を行うなど、快適な住環境の形成を進めていく必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺のオープンスペースの活用を推進し、学生と地域が交流するにぎわいのあるまちづくりを進める。 既存の公益施設「もりんぴあ」(図書館、ホール、ギャラリー、生涯学習施設等)や大学と連携した地域交流を推進する。 地区内への人口定着を図るため、公園や道路などの都市施設の整備を行うなど、快適な住環境の形成を推進する。